

国立国会図書館

タイトル『増補花壇大全 6巻』 請求記号 特1-2510

ガラス使用

白夜
あでこ



仙
紅
と
子



赤
と
子



○
子
と
子

花
の
名



八重
むぎ

花
さ

花

花



花
さ

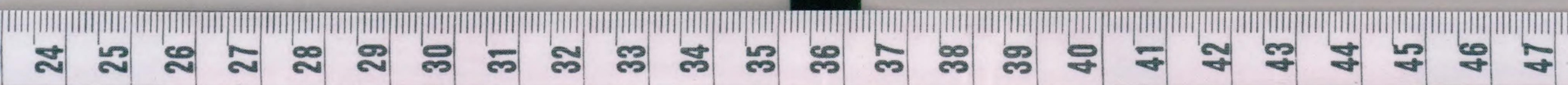
石竹花

花

花

花









大葉のり
花のり
あやめ
おゆき



花のり
あやめ

あやめ
おゆき



桐葉花高蒲 花形よく
むしりふ

花のあつて葉の紫れが
大御少一はまを野
咲ゆ花のほのさけり

花のあつて葉の紫れが
大御少一はまを野
咲ゆ花のほのさけり

一文字も高蒲 むしり
むしりて野の身は花も

又紫花をさぐ むしり
むしりて

花のあつて葉の紫れが
大御少一はまを野
咲ゆ花のほのさけり

紫花をさぐ むしり
むしりて

花のあつて葉の紫れが
大御少一はまを野
咲ゆ花のほのさけり

平ねどし むしり
むしりて

花高蒲 むしり
むしりて

○慈子むら むしり
むしりて

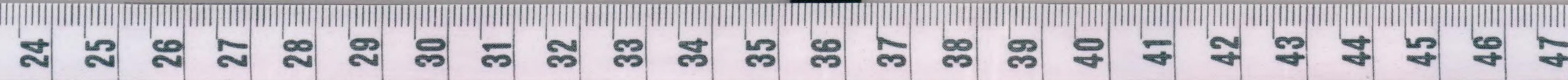
増補

花高蒲 むしり
むしりて

白糸 むしり
むしりて

花のあつて葉の紫れが
大御少一はまを野
咲ゆ花のほのさけり

花のあつて葉の紫れが
大御少一はまを野
咲ゆ花のほのさけり



ちんちん 花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌

花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌

花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌

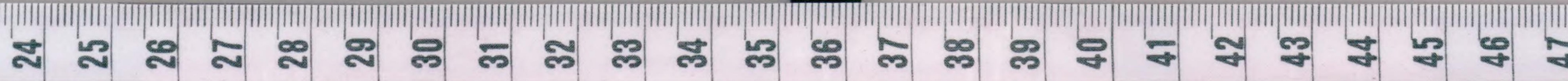
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌

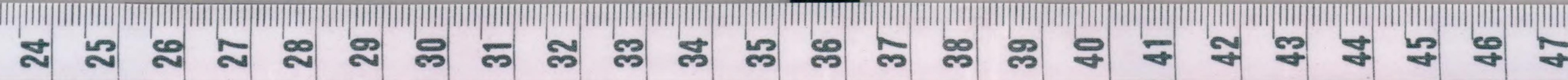
花壇の歌

花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌

花壇の歌

花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌
花壇の歌







増補花壇

○薊あざみのゑん 増補

様さまあざみの花の五右の

あざみよりハ

よがと色りありと色

さらさらとちまらん

血ま紅べに 色いろの

まよりハ

カクありと色りありと

傍かたわら色いろ 色いろの

あざみのよりハ

中なか持もちとちまらん

桃もも色いろ 色いろの

のりともて桃色

ちり移うつりとよりハの

膚かわ色いろ 色いろの

さらさらとちまらん

色いろの

こちれがう名な九く色いろは

葉は色いろ 色いろの

ちり移とちまらん

まのの

大おほ薊あざみ 色いろの

あざみのよりハ

ちり移とちまらん

色いろの

花はなハ色いろの

さくさく

葉は色いろの

こちれがう名九色は

小こ薊あざみ 色いろの

ちり移とちまらん

色いろの

花はなハ色いろの

○あざみの花を手に取りはより色をわたりてあけ即ち

あざみの花を手に取りはより色をわたりてあけ即ち

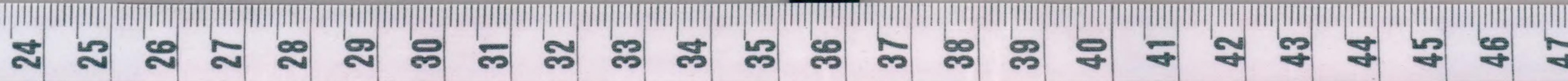
あざみの花を手に取りはより色をわたりてあけ即ち

あざみの花を手に取りはより色をわたりてあけ即ち

あざみの花を手に取りはより色をわたりてあけ即ち

増補花壇

増補花壇





おまのき
大薊



のあま
小薊

いふ
花薊

大薊

小薊



増補花壇

六

○系形ゆき事如紙 増補

うくせん 系形ゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙

うけりき 一系もむた又ハ
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙

積善行

積善行 一名経通した
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙

山門草

山門草 一名花あまて
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙
あはれゆき事如紙

増補花壇

六





花壇の増補

三十五

○増補本と部

本穂子 葉ハあちちの本に
多クハ加へたる魚

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

一葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

二月時かきまきま

飛毛のまきくつらまり

花飛たのまき
はまのまきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

花のまきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

花のまきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

花のまきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

花のまきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

花のまきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

うまじ二葉まきくつらまり

24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47

虎心竹 竹の音にさうく
ほらうてん中
竹の子をねらうり何れ
唐の京陽

白山吹 花も本もたの
うらん心竹のや
花の並ゆくわしきまを
あもるゆらなり

海棠花 花飛梅のや
白ひまらまを
の並り人ののときさく海
雲むのゆく一雨ふはほ

朝静宜春 本まにま
との小樹く
花ゆく中静二花集て
さく三花さくも送じ

唐の京陽 花も本もたの
花の並ゆくわしきまを
あもるゆらなり

しらて実くぬとつり
雲陽をふたねむさく
生むよしをばよし

花も本もたの
うらん心竹のや
花の並ゆくわしきまを
あもるゆらなり

桃色板 花見やうら
はさうらわらぬ
花ざくらハらゆさ。ゆぬ
せんやう。白せんやう。ささ

花も本もたの
うらん心竹のや
花の並ゆくわしきまを
あもるゆらなり

物静宜春 本ハにま
との小樹く
花ゆく中静二花集て
さく三花さくも送じ

しらて実くぬとつり
雲陽をふたねむさく
生むよしをばよし



増補花壇

多良

多良 花の丈まぶのびきて
あまのこまきくは花を
ゆく一葉まきくまきりて
実くたのこねきゆくもれ
さく一葉まきくまきりて
さく一葉まきくまきりて

本藤

本藤 花の丈まぶのびきて
あまのこまきくは花を
ゆく一葉まきくまきりて
実くたのこねきゆくもれ
さく一葉まきくまきりて
さく一葉まきくまきりて

しら

しら 花の丈まぶのびきて
あまのこまきくは花を
ゆく一葉まきくまきりて
実くたのこねきゆくもれ
さく一葉まきくまきりて
さく一葉まきくまきりて

あさ

あさ 花の丈まぶのびきて
あまのこまきくは花を
ゆく一葉まきくまきりて
実くたのこねきゆくもれ
さく一葉まきくまきりて
さく一葉まきくまきりて

白雲

白雲 花の丈まぶのびきて
あまのこまきくは花を
ゆく一葉まきくまきりて
実くたのこねきゆくもれ
さく一葉まきくまきりて
さく一葉まきくまきりて

玉

玉 花の丈まぶのびきて
あまのこまきくは花を
ゆく一葉まきくまきりて
実くたのこねきゆくもれ
さく一葉まきくまきりて
さく一葉まきくまきりて

丹

丹 花の丈まぶのびきて
あまのこまきくは花を
ゆく一葉まきくまきりて
実くたのこねきゆくもれ
さく一葉まきくまきりて
さく一葉まきくまきりて

花の丈まぶのびきて
あまのこまきくは花を
ゆく一葉まきくまきりて
実くたのこねきゆくもれ
さく一葉まきくまきりて
さく一葉まきくまきりて

花の丈まぶのびきて
あまのこまきくは花を
ゆく一葉まきくまきりて
実くたのこねきゆくもれ
さく一葉まきくまきりて
さく一葉まきくまきりて



増補花壇

總牡丹

花の形もさういふ
さういふ物林のうらやま
さういふさういふのやうな
て牡丹のむすぶさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
七宝龍 花のさういふ
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう

二十

梅波根

さういふさういふ
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう

樟木

さういふさういふ
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう

又

さういふさういふ
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう
さういふさういふさう



朝顔 あさぎ 朝顔 あさぎ 朝顔 あさぎ

此のよひに夕暮し暮さ
走りまわつてまわらう
海やうも一色あつた
又若葉まゝいふ

花竹 はなたけ 竹のやうに
まゝいふ

まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく

櫻 うめ 櫻 うめ 櫻 うめ

まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく

まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく

まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく

朝顔 あさぎ 朝顔 あさぎ 朝顔 あさぎ

まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく

朝顔 あさぎ 朝顔 あさぎ 朝顔 あさぎ

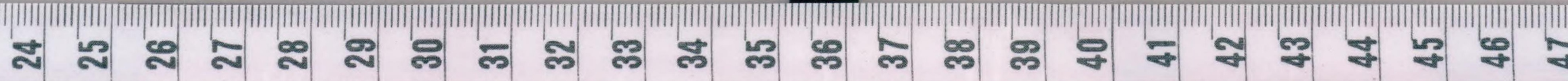
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく

朝顔 あさぎ 朝顔 あさぎ 朝顔 あさぎ

まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく

朝顔 あさぎ 朝顔 あさぎ 朝顔 あさぎ

まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく
まゝいふまゝのほく



南条松板 南条松板

らんせんざくろ らんせんざくろ 花のやぶに
らんせんざくろ らんせんざくろ 花のやぶに
らんせんざくろ らんせんざくろ 花のやぶに
らんせんざくろ らんせんざくろ 花のやぶに
らんせんざくろ らんせんざくろ 花のやぶに
らんせんざくろ らんせんざくろ 花のやぶに
らんせんざくろ らんせんざくろ 花のやぶに
らんせんざくろ らんせんざくろ 花のやぶに
らんせんざくろ らんせんざくろ 花のやぶに
らんせんざくろ らんせんざくろ 花のやぶに

夜堂木 夜堂木

やどうぎ やどうぎ 花のやぶに
やどうぎ やどうぎ 花のやぶに
やどうぎ やどうぎ 花のやぶに
やどうぎ やどうぎ 花のやぶに
やどうぎ やどうぎ 花のやぶに
やどうぎ やどうぎ 花のやぶに
やどうぎ やどうぎ 花のやぶに
やどうぎ やどうぎ 花のやぶに
やどうぎ やどうぎ 花のやぶに
やどうぎ やどうぎ 花のやぶに

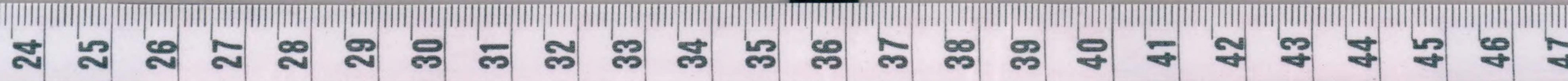
紫香木 紫香木

むらさき むらさき 花のやぶに
むらさき むらさき 花のやぶに
むらさき むらさき 花のやぶに
むらさき むらさき 花のやぶに
むらさき むらさき 花のやぶに
むらさき むらさき 花のやぶに
むらさき むらさき 花のやぶに
むらさき むらさき 花のやぶに
むらさき むらさき 花のやぶに
むらさき むらさき 花のやぶに



南条松板

夜堂木





国立国会図書館 タイトル『増補花壇大全 6巻』 請求記号 特1-2510

ガラス使用







松園先生撰
怡顏齋櫻品 全一冊

同撰
怡顏齋梅品 全三冊

七十餘種の櫻纂集一冊
花形の図を附し雅客に覽
右は同様の梅の種花
六十有餘をらつめ書

文化十年癸酉春増補

書肆

京都 菱屋孫兵衛
全 林 伊兵衛
江戸 須原屋茂兵衛
大阪 河内屋八兵衛
全 河内屋吉兵衛
全 今津屋辰三郎
全 松本新助

浅井龍章堂藏版書目

唐明詩類函 横塘先生輯 袖珍全三冊

此書ハ唐明諸名家ノ詩ヲ天地歳時花木禽獸人事文学武事樂教仙道夢巧苑珍室食物器用ト十六門ニ分テ詩家作例ノ便用ニ備フ

詩類函二集 同作 同全二冊

此書ハ唐宋元明清ノ諸名家ヲ天歳時山水花木禽獸ト六門ニ分テ集メ詩類函ノ二集トス

同三集 同作 同全二冊

此書ハ二集ニ続テ居處道路寺観古蹟僧道人事器財ト七門ニアツテ都テ詩類函全各トメ作用旅行ノ便覽トス

大坂心齋橋通南本町北三ノ四

河内屋吉兵衛書店

古詩笥 同作 同全一冊

此書ハ今世ニ行ハ近体ノ詩語詩礎トハ格別ニノ只古詩ヲ作ト志ス人必作用ノ擘要タリ

韓非子全書 全十冊

古今事文類聚 全百冊

前集後集続集別集新集外集遺集共二七集全本也

訓蒙讀書字義 毛利貞全著 小本全二冊

此書ハ音ヲ異ニ訓ヲタガエ音ヲ別ニシテ訓同シキ誤リヨム字ヲ正シ俗語本据等ヲ集ル四色字義ノ各ナリ



翻刻隸續 宋洪文惠公集 全四冊

此書ハ西漢晋魏ノ間ノ碑碣石經ノ多ク其外刀鏡昂ノ多ク都テ漢代ノ遺文ヲ集ム古ヲ好ミ古篆隸ヲ學ブ人必用ノ各ナリ

中華輿地圖志 龍岬岸先生著 小本全一冊

此書ハ唐土一統各省ヲ分圖ニシ地名ヲ并トシタル各ナリ

唐土訓蒙圖會 橋守国画 合本全五冊

此書ハ天文地理宮室人物人事器用艸木禽獸魚虫ト部門ヲ分チ唐本ノ三才圖會ヲ以テ圖記スル各ナリ

古今醫療集覽 全三冊

此書ハ北山友松先生先代古医ノ良法ヲ多ク採リ初学医事ノ為ニスル各ナリ

本草和解 翠竹院道三先生著 小本全四冊

此書ハ本艸ノ圖ヲ出シ以呂波分ニノ和解決ル医家必用ノ各ナリ

本草辨名 林貞亮著 全一冊

此書ハ本艸中必用ノ菜物ヲイロハ分ニシテ初学ノ便トス附シ食品ヲ以テス

増補切紙 翠竹院先生著 小本全三冊

此書ハ門部早ニ分チ医士初学ノ為ニス

櫻品 松岡玄達先生著 小本全一冊

此書ハ六十九種品類ヲ集メ花葉形色開落ノ時候ヲテステ圖ヲアケシ附ス

梅品 同作 小本全一冊

此書種々ノ品六十ヲ集メ圖ヲ附ス

唐土名勝圖會 兼葭堂遺意 全六冊

此書ハ今唐土大清ノ京師順天府並直隸一省ノ名勝志ナリ先ニ統ノ輿地圖ヲ置次直隸一省ノ圖ヲ出シ京師ノ惣圖ヨリ大内皇城

内城外城苑囿郊坳ヨリク圖ヲ出シ記部署其司ル処冠服樂器祭器武器天文六儀等及壇廟祭祀封爵等ニ至テ之ヲ圖記各府ニ至テハ人物故事モヲナス著ス此一書ヨク見守ハ今大清ノ京師及直隸ノ省順覽スルヨリモ密ナリ凡此各作意ヲ用ニス引用ノ各目ニヨッテ編集スルモノナリ實ニ中華一統ヲ一一眼ニ見ル此各限レリ海内無双ノ奇籍ト云ベシ

宋朝御局方 全二冊

此書宋ノ代ノ天子民ノ病苦ヲ弘クスルニト欲シ濟民御局ノ方各ヲ作ルモノナリ

本朝通記 長井宗定著 合本全五冊

此書ハ日本ノ歴史ナリ前篇神武天皇ヨリ近衛天皇久壽二年ニ至ル後篇後白河院ノ保元ヨリ後陽成院ノ天正十八年ニ至ル

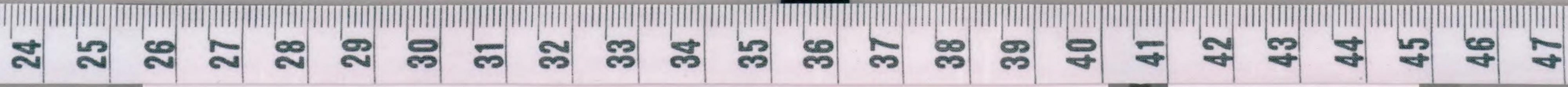
本朝百將傳 林道春先生傳贊

此書ハ古今名将百人ノ画像ニ小傳ス道臣命ヨリ始リテ豊臣秀吉公ニ至ル

十訓抄 作者未詳 全十冊

一人ノ事ヲ極メテ二悟慢トハスルモノナリ
三人倫ヲ極メテ四ノ人トシテハスルモノナリ
五朋友ヲ極メテ六忠直トシテハスルモノナリ
七思慮ヲ極メテ八諸事ヲ極メテハスルモノナリ
九怨怒ヲ極メテ十才藝ヲ極メテハスルモノナリ
以上ノ事ヲ極メテハスルモノナリ

示の書あり



特1
251

國朝名家室帖 全二冊

此書ハ日本の能書とありのり多本尋

新撰染物雛形 全七冊

此書ハ中古以来の染物形記ありと書あり
たもきし二切花をとりありし法綴ハ
今も用てありきと云ふなり

俳諧意くばり 後水本一冊

此書ハ古今の俳諧意と云ふものあり
今も用てありきと云ふなり

俳諧意くばり 噴山選 全三冊

此書ハ近代諸國名人の句と云ふものあり

装蒙書東式 全部三冊

此書尺牘昏法ヲ安達タル書ナリ

増補花壇大全 全部八冊

此書ハ草木の植ふ時種考ありと云ふ
花意のからしと云ふなり

凌烟閣功臣廿四傑画像 全一冊

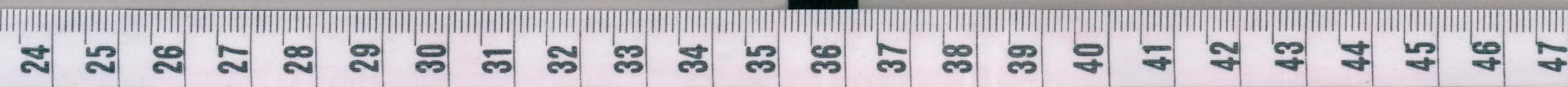
陳章侯の画を谷文晁の楷画也

杜工部集 小本全部八冊
唐本翻刻崇文堂發行

杜集原本不_多數十百家箋釈註解
人人殊言雖_然少_後一生不_為銅章
棘句則箋註宜_後刪_今此袖珍版
幾人僕孺舟輿便行篋也詩人之大
寶未嘗有_過于此者也

杜律趙註 全部四冊

杜詩集註 全部二十冊
再刻嗣出





国立国会図書館

タイトル『増補花壇大全 6巻』 請求記号 特1-2510

ガラス使用